

MONTHLY MAGAZINE

2000年11月1日発行(毎月1回1日発行) 第39巻第11号(通巻474号) 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可

KOBECCO

November 2000 No.474 月刊神戸っ子11



中西勝「華唄」

★対談「See 阪神・淡路キャンペーン」北本正孟 小室豊允
★特集「インターネット博覧会」堺屋太一



PEARL COMMUNICATION



kinoshita
pearl

パールサロン神戸

神戸市中央区山本通1-7-7(北野坂)
TEL.078-221-3170
FAX.078-221-9427

輝き、冴える。



JEWELRY タジマ

神戸市元町2丁目 TEL.078 (331) 5761

日本人に、
本物のおいしいウイスキーを
飲んでほしい。

日本のウイスキーの父 竹鶴政孝の夢が、今ここに実現する。



世界に誇れるウイスキーを日本でもつくりたい。
メリケン波止場で誓い。



渡航時の竹鶴政孝

1918(大正7)年6月29日、

神戸港第二波止場、通称メリケン波止場は、海を渡る一人の青年を見送る人並みで埋まっていた。青年の名は竹鶴政孝、当時24歳。彼は本場でウイスキーづくりを学ぶという使命に燃えていた。後のニッカウキスキー創業者となる男である。

広島県の造り酒屋に生まれた彼は、家業を継ぐための酒造りを学ぶうちに、洋酒、とりわけスコッチウイスキーの深い魅力にとりつかれてしまう。「世界に誇れるウイスキーを、この国で、この手でつくりたい」。熱い希望を胸に単身スコットランドへ留学した彼は、門外不出といわれていたウイスキー製造法を日本人で初めて学び、持ちかえることになる。竹鶴にとつてこの日は、まさにウイスキーに捧げた人生への船出でもあった。

**日本初の本格ウイスキー蒸溜所を建設。
「日本のウイスキーの父」と呼ばれる。**

1920年、ウイスキーづくりを学んで帰国した竹鶴は、寿屋(現サントリー)の創業者、島井信治郎に請われ、入社。ウイスキー蒸溜所の建設に携わり、スコッチの製法による国産初の本格ウイスキーの製品化に貢献した。

これが、竹鶴政孝が「日本のウイスキーの父」と呼ばれるゆえんであるが、この成功にも、彼は決して満足しなかったという。それどころか、ウイスキーに対する彼の情熱はますます強くなっていった。竹鶴が理想としていたウイスキーづくりは、この時はまだ始まってさえいなかった。



[上]ニッカウキスキー北海道工場(余市蒸溜所) [下]仙台工場(仙台蒸溜所)の蒸溜器

念願の余市工場で本格ウイスキーづくりをスタートさせた竹鶴であったが、彼にはもう一つの夢があった。それは、なんとも欲張りなことではあるが、余市モルトとは違ったタイプのモルトをつくることだった。「ウイスキーというのはまことに微妙なもので、同じ技師が同じ機械、同じ原料を使っても、百キロくらい離れた別の場所で作ると、違ったウイスキーができる。それらをいくつか合わせる、一カ所で作ったものばかりでブレンドするより、さらにいいものができる」。その信念のもと、彼は仙台宮城峡をその地に選んだ。北の風土を満たしながら余市よりもおだやかな気候、そこから生まれるモルトも気候風土を反映したおだやかでやわらかい味わい。竹鶴は日本で初めて、よいウイスキーづくりには欠くことのできない、複数の蒸溜所を持つことになる。



湧きあがるはなやかな香り。底知れぬモルトの深み。
竹鶴12年 ピュアモルト

2,450円(希望小売価格)
【発売日】平成12年11月10日(木)
【問い合わせ先】ニッカウキスキー(株)神戸支店 TEL.078-271-1823(代)

といえるのかもしれない。

**ニッカウキスキーが世界に誇るモルトの産地
北海道余市と、仙台宮城峡。**

スコットランド留学中、ウイスキーの品質はモルトにある、そして優れたモルトづくりには北の厳しい自然がなにより大切であることを学んだ竹鶴は、より理想的なモルトづくりの夢を捨てきれなかったという。そんな彼が、北海道余市というスコットランドによく似た気候風土の地に蒸溜所をつくるべく独立を決心したのは、決して驚くべきことではない。寿屋を退社した彼は余市蒸溜所を開設、大日本果汁株式会社(現ニッカウキスキー株式会社)を興す。1934年、竹鶴政孝40歳の時だった。

念願の余市工場で本格ウイスキーづくりをスタートさせた竹鶴であったが、彼にはもう一つの夢があった。それは、なんとも欲張りなことではあるが、余市モルトとは違ったタイプのモルトをつくることだった。「ウイスキーというのはまことに微妙なもので、同じ技師が同じ機械、同じ原料を使っても、百キロくらい離れた別の場所で作ると、違ったウイスキーができる。それらをいくつか合わせる、一カ所で作ったものばかりでブレンドするより、さらにいいものができる」。その信念のもと、彼は仙台宮城峡をその地に選んだ。北の風土を満たしながら余市よりもおだやかな気候、そこから生まれるモルトも気候風土を反映したおだやかでやわらかい味わい。竹鶴は日本で初めて、よいウイスキーづくりには欠くことのできない、複数の蒸溜所を持つことになる。



スコットランドでの修行時代

あると確信している」と。希望に燃える若き日の竹鶴が海を渡ってから80年あまりが過ぎた今、ニッカのモルトは海外からも高く評価されるほどのクオリティを手に入れた。

**本格ピュアモルトウイスキー、満を持して登場。
その名も「竹鶴」。**

竹鶴政孝が生きた20世紀が終わり、新たな世紀を迎えようとしている今、彼の情熱の結晶ともいえるピュアモルトウイスキーが誕生した。名前は、ウイスキーの父からもらった。北海道余市と仙台宮城峡で生まれる上質のモルトの中でも、すっきりと飲みやすく後味が爽やかで、華やかな香りを持つものを厳選。味わい深くまろやかで、まさに「竹鶴」の名にふさわしい、世界に誇れるウイスキーに仕上がっている。

最高級のモルトが、手軽な価格で楽しめる。

「竹鶴12年ピュアモルト」の価格は2450円。12年以上熟成を重ねた上質のモルト、それだけを贅沢に使用したウイスキーにしては常識破りの価格に、首をひねる人もいるかもしれない。だが、今の時代に竹鶴政孝が生きていたとしたら、彼はきつこう言うだろう。「本当においしいピュアモルトウイスキーこそ、ひとりでも多くの人に楽しんでもらえる価格にすべきじゃないかね?」と。彼のウイスキーに対する愛情は、今もニッカウキスキーに脈々と受けつがれている。



裸木

山本美代子

疲れているときは かなしい 被護者のかおをして
愛の名で 同調するふりをして すべてのものが わ
たしから わずかなぬくもりを 奪っていくのが見え
る

薄ら陽をあびていると 糸よりもよじれもつれ 花
のようには咲かなかった かたくなな 青春の思い出
が 細い枝先の網目をすけて みずいろの空へ 流れ
ていったりする



美しく 壮麗なものに みたされる筈であった風景
は かたむいたまま いつも脆弱で薄汚れていた 明
るい小休止の小道は 銅版画のなかの 絵そらごとで
あった

飛んでいった鳥たち それはたしかに 飛び立って
行ける岬であったのか それとも 貧しいまぶたが引
いた 幻影の水平線だったのだろうか

ある小さな恍惚が 冷い表情のまま わたしのまわ
りで踊った 風花であった

—花と人と街と—
第11回 谷口 佳子



21世紀のワオ！
Come on into the New World



たにぐち よしこ
(画家)
加古川市在住

ピュアで、生きる喜びにあふれていて、地球とも大の仲良し。何が一番大切なのかちゃんと知っている。私達一人一人の中にそんな存在が永遠にきつという気がして。Ayon (アヨン) と名付けて描いています。Ayon達が元気にとびまわる光輝く世界を夢みつつ…。

“ベイシティバンクかんしん”は「共感・対話・信頼」を企業理念として、地域の文化・芸術の育成に努めております。

この“かんしんストリートギャラリー”も芸術の香りをほのかに漂わせたアートスポットとして、本年は「花と人と街と」と題したシリーズで様々な作品を紹介してまいります。



生田新道に面したストリートギャラリー

KOBECCO

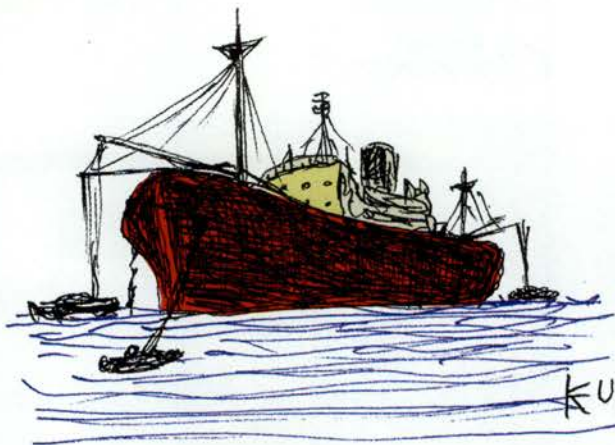
月刊神戸っ子11月号

No.474

NOVEMBER 2000

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です

表紙/中西 勝「華唄う」



イラスト/黒田征太郎

特集

20

翔けイチロー!
ヴィッセル永島ありがとう

26

神戸ルミナリエ「いざ、輝く街へ」

58

インターネット博覧会
国を挙げての「インパク」
21世紀は明石でオープン
堺屋太一

talk

22

阪神・淡路の魅力を全国に発信
北本正孟 VS 小室豊允

38

六甲アイランドで新世紀のシニアライフを
内藤秀宗 山根千鶴子 岡本真穂

series

44

マイボート・マイヨット<4>
「道満と仲間たちの優雅なヨットライフ」

49

新連載エッセイ<3>
植草貞夫のスポーツ交友録「村山實」

74

竹久夢二 四つの恋のものがたり<18>
「黒猫の女に、お葉嫉妬す」中右 瑛

series

- 6 ポエム・ド・コウベ「裸木」山本美代子 写真:小山保
- 11 井植文化賞表彰式
- 12 KOBECCO 2000/高下浩明 荻田ゆみこ
- 14 コウベスナップ
- 16 ある集い/神戸アーティストの会 神戸ユネスコ協会
- 18 神戸新百景「土地よ、人よ、美しく在れ」季村敏夫
- 32 トアロードクラフトアートフェア
- 36 神戸のお嬢さん/松原美穂 植田光世
- 55 おなじみプロフェッサーPの研究室/岡田淳
- 56 私の意見「居留地復元によるテーマパークを」板東慧
- 58 芦田弘逸副知事インタビュー
- 64 神戸のアーバンデザイン〈11〉武田則明
- 65 神戸のモダンリビング〈11〉白井浩
- 66 こちらトゥモロー編集室/吉良和人
- 67 神戸JCマンスリー「エコツーリング2000が開催」
- 68 ルポ/アジア最大の宝飾展「香港2000」
- 70 ミステリーグルメ神戸篇「ONE DAY LILY〈9〉」ウドノ葉生子
- 76 ズームインZOO「実録・王子動物園史」亀井一成
- 78 有馬歳事記「手作りおもちゃの加藤裕三さんを訪ねて」
- 80 びっと・いん
- 81 若柳吉金吾の食は踊る「松酒家」
- 82 タウン誌編集長おすすめの旅/月刊みと(茨城県)
- 84 もだかる0011
- 86 ポケットジャーナル
- 88 異端の薔薇〈5〉中谷衣里
- 92 啓介いろは歌「早起き三文の徳いろは歌」今井啓介
- 93 神戸っ子倶楽部通信/愛読者プレゼント
- 94 北野大散歩/ギャラリー島田 北野ロスティヴァーレ
- 96 神戸百店会/元町画廊 ポートピアホテル
- 98 神戸うまいもん&ドリンキング

カメラ/米田定蔵 池田年夫 松原卓也 米田英男 森田篤志 尾上達也

KOBE EXCELLENT FASHION

BOUTIQUE
Omura

深まりゆく秋を、“大人の街”神戸元町で。

ボルボネーゼのウェアとバッグの
NEWコレクションが登場いたしました。



★選りすぐった一点を…

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-11 TEL.321-1710

KOBE
EXCELLENT SHOP

ハイカラ神戸の伝統を
現在に伝える名店

★神戸唯一のボルボネーゼトータルブティック

BOUTIQUE
Omura

神戸市中央区元町通3-2-18
ボルボ店 TEL.391-0014
ピアノコ・ドンナ店 TEL.391-4601
(クーカイ店)

★よろず御衣縫上處

神戸シャツ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 TEL.331-2168

★婦人帽子

maxim
マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13(トアロード)
TEL.331-6711 全国有名百貨店婦人帽子売場

★伝わる真ごころ 最高の風格

手づくり
お誂え紳士服

bespoke Boutique
欧風館
KOBE

創業明治16年 株式会社 柴田音吉商店

本店 神戸 元町本通4丁目アーケード南 TEL. 341-1161
東京店 東京 帝国ホテル本館 アーケード内 TEL. 3503-7973

第24回井植文化賞表彰式

今年も兵庫県下の多彩な人材を顕彰



財団法人井植記念会（井植貞雄理事長）主催の井植文化賞は今年、24回を迎え、10月7日（土）垂水区の井植記念館にて表彰式が行われた。今年には6部門から、次の5個人2団体が受賞。

・文化芸術部門
時里 二郎
（詩人）

・科学技術部門
春日 雅人
（神戸大学医学部教授）

・社会福祉部門
メイנסトリウム協会
（代表・藤田俊二）

・地域活動部門（2個人受賞）
武田 清市
（淡路文化団体連絡協議会会長）

横谷 温子
（元・兵庫県連合婦人会副会長）

・報道出版部門
神戸新聞社「社説」
（代表・上羽慶市論説委員長）

企画報道
「大震災
問わずにいられない」
（代表・前川昌夫編集局長）

・国際交流部門
高井 恒昌
（株）千趣会代表取締役、
（財）千趣留学生奨学財団理事長

受賞者には、亀山常務理事（井植理事長代理）より、賞状及びブロンズ像、副賞の賞金が増られた後、受賞者を代表して武田清市氏が喜びの挨拶を述べた。この後の懇親会では、受賞者、選考委員ら約70名が歓談、それぞれの受賞を祝った。

※写真は第24回井植文化賞の喜びの受賞者たち



KOBECCO
2000

高下 浩明

好きな街からはじめる
サクセス・ストーリー

HIROAKI TAKASHITA

〈株式会社ルシエルブルー代表取締役兼C.E.O.〉



撮影/村松まさと・トアロード「RESTIR」で

大人たちの会話や仕草、遊び方、ファッション、仕事っぷり：そのすべてがカッコよく眩しく見えた日はなかったか。「僕は本当にいい大人像を見ながら青春時代を過ごさせてもらった」。あの時代を再燃したい、と高下氏は言う。いまや20代後半の女性たちに絶大な人気を誇る「ルシエルブルー」の代表。クールな若手実業家を想像していた分、熱い言葉とシャイな笑顔の意外さに驚かされる。

トアロードに10月、突如出現した「RESTIR」には、その言葉を代弁するように、ハーレーやディスコのミラーボール、80年代の音楽CD、インポート雑貨：が「大人たち！若い頃みたいに遊ぼうよ！」「若者たち！ファッションってこれだよ！」と訴えかけてくる。毎日がパーティーという高下氏のポリシーが伝わってくる。この1年休日はず口、趣味の波乗りにもいけないと嘆く超多忙ぶりだが、夜中2時3時まで飲み明かすことはいとわれない。「目一杯仕事をしたあと遊ぶってすごく体力もいるし、気疲れもする。でも自分から楽しくしないと楽しい毎日は送れない」

13年前はジーンズ、7年前はサーフアerie、そして震災後、現在のルシエルブルーを立ちあげた。「これだと思つと即そっちに走っちゃう」と単純さを笑うが、自らの考えを全否定してから事を始める妥協なき完璧主義者でもある。将来的には海外進出も視野に入れる。「もちろん神戸発。なんでも東京じゃなくて、好きな街から始めればいいんですよ」



KOBECCO
2000

荻田ゆみこ

神戸の夜に素敵な
サウンドズを

YUMIKO OGITA

〈Kiss FM 神戸サウンドクルー〉

開口一番にDJの方の豆知識ってすごいですよねと日頃の思いをぶつけてみる。と、大爆笑して「確かに、友達と遊んだるときでも常にこれ使えるっ！って敏感に反応してる。でも、特別なことじゃなくて、カッコいい音楽とか、おもしろい話って誰かに話したい。私のDJってまさに、ねえねえちょっと聞いてよの世界なんです」

月曜から木曜の夜8時からの2時間、Kiss FM 神戸の洋楽番組「キッス・サウンド・ウェーブ」のDJとして活躍する荻田ゆみこさん。メリケンパークにあるスタジオで神戸の夜景を眺めながらの放送は、ゲストを交え、歌い、踊り、いざ本番中に声が出なくなっただけ。番組に届くティーンエイジャーからの便りで、洋楽が好きになったという言葉が一番嬉しいと言う。自身、高校時代にアメリカに留学し、FMが密着した生活の中で音楽への関心を深めた。

Kiss FM神戸の一般オーディションに合格したのが番組スタートと同じ1年前。武庫川女子大学を卒業後、四国のFM局でアナウンサーとして番組制作まで行う、想像を絶する多忙さに逃げ出したかった毎日も今の自分になくはない経験だったと振り返る。「関西で喋りたい！ 自分の言葉で語ってみたい！」という夢を忘れず、大阪のFM局を経て現職。「7年も遠回りしたけど、願っていた道は自然に開けるもの」

今日もラジオの向こうで、誰かの思い出をつくる一曲。「素敵な神戸の夜をいっそう心地いい夜にしたい」

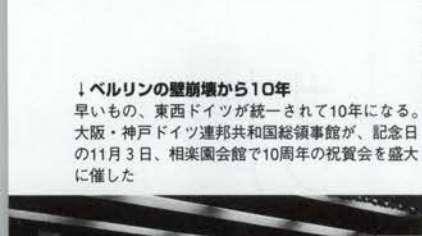
撮影/池田年夫・KissFM神戸本社スタジオにて



「南極観測船「しらせ」が神戸港に入港
南極地域への物資の輸送、観測を任務とする南極観測船「しらせ」が、日本沿岸の総合訓練航海の途中、9月26日神戸港に入港。氷を割りながら進む、その大きさは普通の護衛艦の1.5倍という観測船は圧巻。歓迎セレモニーの後、船内見学会では南極の氷や石も展示された



特別展
「田村孝之介と神戸」開会式



↓ベルリンの壁崩壊から10年
早いもの、東西ドイツが統一されて10年になる。大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館が、記念日の11月3日、相楽園会館で10周年の祝賀会を盛大に催した



↑神戸市立小磯記念美術館「田村孝之介と神戸」展が開幕
9月22日、「田村孝之介」展の開会式が行われた。本展では小磯良平と交友の深かった田村孝之介作品約75点と、田村が自宅に開設した六甲洋画研究所に通った神戸の画家たちの作品を併せて展示。12月3日まで



K O B E コウベスナップ S N A P



↑「船本昭三の具体時代」
10月2日〜6日、12日〜21日、フェリス学院美術館にて「1950年頃の船本昭三作品展」が開かれ、ピン投げや女拓の等アートのパフオーマンズのルーツ作品が並んだ。オープニングでは船本氏の弟・L O C Oさんの穴あき紙コップで乾杯

↓お客様の満足のために
さんちが接客ロールプレイングコンテスト決勝大会が10月2日に開催。今年ではバリアフリーをテーマにした接客演技も。グランプリは販売歴20年の村上悦次さん（グッドツールアイディア）



第4回 さんちが接客ロールプレイングコンテスト

↑イギリスのインナーファッションが神戸に
9月15日〜10月1日「インサイド・アウト展」が神戸ファッションマートで開かれた。優雅な下着の世界にうっとり（注：写真の女性はマネキンです）



↑三浦保ってなんやパーティー
「遊民村」などユニークな活動をする三浦保さんの「コミュニティってなんやパートII」出版記念会が9月28日に行われた。体調を崩された三浦さんも車椅子で乾杯。あたたかいパーティーとなった



↑エキゾーストが響く六甲アイランドのロマンな日
今年で3回目になる「リエゾンクラシックカーフェスティバル」が10月8日に開催された。ふだんお目にかかることがない旧車たちが150台集合し、神戸市内を周遊



日本日中間係学会 2000年度総会・大会
2000年10月14日(土) 日(祝)

↑神戸ネオトロピカル協会20周年記念大夜会

ダンスと社交を通じての友情の輪を20年間続けた神戸ネオトロピカル協会(森美代子会長)が、9月30日、神戸ポートピアホテルで200余名の記念チャリティを開催した。おめでとう!



↑夢舞台ガリフレッシュオープン

10月7日、淡路夢舞台の温室「奇跡の星の植物館」などがガリフレッシュオープン。来春開催予定の淡路夢舞台スーパーフラワースhowにむけてスタートした。写真は津田貞之夢舞台社長

↑日本日中間係学会2000年度総会・大会(関西)

10月14日、トアロード中華会館で開かれた日中間係学会では、パネリストの竹内美京都大学名誉教授や毛丹青さん(ジャーナリスト)がテレビドラマ「大地の子」を通して考える日中友好関係や昨今のインターネット事情を積極的に



→健康、福祉に関する情報が多数出展
10月7日、8日神戸国際展示場にて「神戸ハローライフ・フェア」が行われた。テーマを「健康と福祉、あなたから私から」とし、介護用品、健康・栄養食品などが一堂に集まった



K O B E コウベスナップ S N A P

←紙コップ人間の結婚式!?

9月28日、爽やかな秋空のもと紙コップアーティストのLOCOさんが紙コップ人間と結婚し、紙コップ人間に変身! 列席者もおなじく紙コップ人間に???



←きらめいて一愛!

アサヒビール神戸支店の営業マン杉原洋さんと「トム・キャンティ」榎晴夫さんの一人娘・弓子さんが10月14日メリケンパークオリエンタルホテルでゴールイン。パパの作ったカクテルは「きらめいて一愛」。お幸せに!



←オークラホテルズ&リゾート大集合
10月4日、ホテルオークラ神戸に、オークラホテルズ&リゾート13社が集合し、大セールスキャンペーンをくりひろげた



←ランバン社のオートクチュールトワルが神戸に
神戸ファッション美術館リソースセンター資料室に、パリのオートクチュールメゾン・ランバン社のトワル約100点が寄贈されたことを記念し、もち主で同社のチーフデザイナーだった大菅てる子氏が講演会を



豊かな神戸文化をつくる 〈第三回神戸アーティストの集い〉



★ある集い★

(写真右上) 乾杯の音頭をとってくださった貝原知事

三年前、木村重信さんが兵庫県立近代美術館館長として赴任してこられたので、われわれアーティストが歓迎会をしようということになり、木村館長さんをお訪ねしてお話したところが、ちょっと乗り気になっていただけなかった。かつて私たちがまだ「ハチの会」などをつくり、さまざまなアーティストを中心とした人々が集まってどんちゃん騒ぎをしていたことがあった。そういった思い出話がよく出て、再現を試みたがなかなか実現できなかった。神戸文化発展のためにぜひ必要であると思い「そうした会であれば来ていただけますか」と木村館長さんに聞く。「それはぜひ」とのお返事だったので、「神戸アーティストの会（木村重信さんを迎えて）」が、生田神社にてめでたく開かれた。それが二回、三回と続き、第三回めの「神戸アーティストの集い2000」は、絵画、音楽、文学、書道、華道、舞踊などたくさんの方の分野の方に世話人になっていただき、多くのアーティストが集まって大盛況だった。これは木村館長さんが起爆剤となったのである。

一方、現在の近代美術館が移転する、その跡地についてのさまざまな考えを、ちょうど集いの三日前に、発起人数人とともに貝原知事さんをお訪ねしてお願い申し上げたところ、嬉しいことに、NPO法人化してはどうか等の助言をいただいた。その上、なんと秒刻みのスケジュールをぬって「神戸アーティストの会2000」にご参加をいただいて乾杯の音頭までとってください、会はずます盛り上がりだったのである。

〈代表 中西勝〉

■連絡先/神戸アーティストの会事務局
神戸市中央区下山手通1・2・1生田神社社社会館内
TEL 078・391・8765

平和を愛する精神と、人々の輪

〈神戸ユネスコ協会〉



★ある集い★

いよいよ本格的な夏の日差しが照りつけはじめた七月のある日、隔月（奇数月）開催のチャリティ・ゴルフ大会が催されました。

「神戸ユネスコWHGチャリティ・コンペ」

神戸ユネスコ協会・副会長加藤義雄氏（世界遺産保護活動担当）の呼びかけに賛同した有志により発足した同会は、その名の通り、World Heritage（世界遺産）保護に協力するためのチャリティを目的としています。今回が二回目の開催となりますが、参加資格は会員に限定しておらず、少しでもユネスコの平和を愛する精神を知ってもらおうとする個々の努力と、口コミでその輪が広がります。懇親会後の楽しそうな笑顔は、様々な人との交流を深め、和気あいあいとしたひとときを過ごせた充実感でいっぱい。まるでこの日の爽やかな夏空のようでした。そして、ぼっかりと浮かんでいた白い雲が、まるで平和のシンボルのようにいつまでも心に残りました。

ときには、日頃の喧燥を忘れさせてくれる自然の空間に我が身を置き、心も身体も活性化させてみるのも大切なことだと思いました。

神戸ユネスコ協会では、世界遺産保護、世界寺子屋運動などの、UNESCOへのチャリティ事業を計画しておられる法人・学校・個人などの協力を促進しています。

〈神戸ユネスコ協会〉

■連絡先／神戸ユネスコ協会事務局
神戸市中央区脇浜海岸通1・5・1
ひょうご国際プラザ活動支援室気付
TEL & FAX 078・975・3439

神戸新百景

〈19〉

土地よ、人よ、美しく在れ

季村敏夫

〈詩人〉



フェニックスは古代エジプトの伝説的霊鳥。黄泉の国から甦る美しさに、人びとは魅了され続けた。とりわけ地上の、限られた命から見れば、不死鳥の姿の美しいこと、限りがない。

甦りは黄泉からの帰還。冥界の死者や、闘い途上で倒れた魂も生まれ変わり、炎となつて舞い上がる。

十月一日、新長田のシューズプラザにたらずむ。目の前の女性用ハイヒールの赤いオプジェに驚く。靴のまち長田は奇跡的に復活したのだ。

この日を迎えるまでの数々の苦難。言葉でこういつても、いいつくせない思いがオプジェからあふれている。ハイヒールに塗られた赤い色に、人びとは何を託し、何を祈るのか。地震は自然災害。戦争とは明らかに違う。そのことは頭ではわかってはいたが、身体の方が反発した。それほど残酷な自然の振る舞い。まったく理不尽、不公平であった。地上の叫び声は、呻きや呪いとなつて響きわたった。

まず社会の負荷が厳しく襲った。豊かな人から順に立ち上がった。経済的に豊かでない人の回復はその分だけ遅れた。常に後手の為政者の対応は、悲しいかな「最後はお金で」という経済優先思想から抜けることはできなかった。この事実は人びとを打ちのめした。

零細規模の工場が密集する長田区は、地震

以前から構造不況に見舞われていた。生産の海外移転。はやい話が人件費の安いアジアへの転注。今までは今まで。これからは安ければどこでもよい。シューズ業界は産業空洞化の激震に襲われていた。そこに本物の激震。

工場は全壊全焼。返済の残っていた機械も燃え果てたが、借財は払わねばならぬ。新たに機械を買わねばならぬ。もう一度建物を建てかねばならぬ。「ねばならぬ」はいつた、何個生じたのか。採算がある。資金にも限りがある。敗けたら、あかん。だが、どうすればいい。闘いの途中で倒れ、無念に亡くなられた方の多いこと。

さらにこの地域には、宗主国日本の植民地支配から解放された人びとが多く集まっている。二十世紀のアメリカは異民族の共生という実験に鍛えられたが、長田区は「多文化共生」のさががけであり、今後もそう在り続ける。脱亜しかも「強兵」で始められた近代日本。武を棄てた、新しいアジア、太平洋諸国との関係が問われている。異質な人びとの文化的交流という最も苦手な問題は、もう避けて通れない。

奇跡的に甦った長田。この日ブータン、ネパールの曼陀羅展が、朝鮮の人びとによる統一マダン神戸が開かれていた。土地よ、人よ。痛みを負ったまま美しく在れ。私も祈ろうと思う。



撮影 / 米田定蔵

翔けイチローありがとう！

オリックス・ブルーウェーブのイチロー選手が、来季から大リーグでプレーすることに。大震災のあった95年には、チームを優勝に導き、神戸っ子を大いに元気つけてくれた。翔け！日本のイチローから世界のイチローへ。

96年悲願の日本一を決めてガッツポーズ！
写真提供／デイリースポーツ



96年悲願の日本一に！



元TBSアナウンサー福島弓子さんとの婚約の席で

ヴィッセル神戸永島ありがとう！

ヴィッセル神戸の永島昭浩選手が、今季限りで引退することに。95年の入団以来、数々のゴールで、スタジアムを大いに沸かせてきた。96年、念願のJリーグ昇格は永島選手の貢献なくして語れない。本当にお疲れさまでした。



95年、永島選手が神戸に帰って来た

今年5月6日、ケガからの復帰戦となった柏レイソル戦
(写真提供/ヴィッセル神戸)